

日中経済協力会議(概要)

1 会議の趣旨

- (1) 日中経済協力会議は、日本と中国東北地方 3 省 1 自治区(遼寧省、吉林省、黒龍江省、内モンゴル自治区)との経済協力の促進を目的に、2000 年からほぼ毎年、継続的に開催。主催は、日本側は日中経済協会、中国側は 3 省 1 自治区人民政府であり、開催地である省・自治区や日本の地方自治体・経済界の全面的な支援・協力の下、準備・運営に従事。
- (2) 本会議は、日本と中国東北地域の経済交流における中心的プラットフォームとして、日中両国の政府、地方政府・自治体及び企業、経済団体、大学など広範な分野からの参加者が集い、網羅的な交流を行いつつ、相互理解の促進やビジネスチャンスにつながる議論を展開。

2 開催経緯

- (1) 日本での開催は、2004 年(宮城県仙台市)、2008 年及び 2013 年(いずれも新潟県新潟市)、2016 年(富山県富山市)、2018 年(北海道札幌市)の 5 回。開催地の自治体や関係機関が開催主管となり、本会議の実行委員会を組織している。
- (2) 会議では、日中VIP会見、歓迎レセプション、開幕式、全体会議、分科会、商談会、地方視察等の各種プログラムを通じて相互理解を深めるとともに、今後の協力プロジェクトの醸成に努めている。

3 開催実績

No.	開催年	開催地	参加者数	
1	2000	瀋陽	日本側:59名(内現地26名)、中国側:48名	計107名
2	2001	長春	日本側:77名(内現地19名)、中国側:32名	計109名
3	2002	ハルビン	日本側:84名(内現地27名)、中国側:95名	計179名
4	2004	仙台	日本側:1,100名、中国側:700名	計1,800名
5	2005	瀋陽	日本側:177名(内現地69名)、中国側:238名	計415名
6	2006	長春	日本側:136名(内現地49名)、中国側:302名	計438名
7	2007	ハルビン	日本側:164名(内現地93名)、中国側:354名	計518名
8	2008	新潟	日本側:430名、中国側:290名	計720名
9	2009	フフホ	日本側:171名(内現地26名)、中国側:453名	計624名
10	2010	瀋陽	日本側:285名(内現地121名)、中国側:450名	計735名
11	2011	長春	日本側:139名(内現地74名)、中国側:300名	計439名
12	2012	ハルビン	日本側:147名(内現地67名)、中国側:310名	計457名
13	2013	新潟	日本側:250名、中国側:130名	計380名
14	2015	瀋陽	日本側:169名(内現地110名)、中国側:531名	計700名
15	2016	富山	日本側:207名、中国側:225名	計432名
16	2017	長春	日本側:103名(内現地60名)、中国側:397名	計500名
17	2018	札幌	日本側:182名、中国側:209名	計391名
18	2019	ハルビン	日本側:81名(内現地49名)、中国側:304名	計385名

※網掛けは日本開催。